

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年																		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月 ~7日	5月 ~14日	5月 ~21日	5月 ~28日	6月 ~4日	6月 ~11日
カンピロバクター	69	64	99	99	47	48	99	77	32	48	30	46	63	7	25	6	19	11	13
病原性大腸菌	62	88	90	30	53	40	44	45	81	47	37	55	103	7	51	32	30	26 (1)	25
腸管出血性大腸菌	0	1	1	10	2	0	2	0	0	1	1	4	1	0	0	0	0	0	1
サルモネラ	5	5	3	16	12	12	14	5	3	7	2	2	7	0	2	0	5	3	5
黄色ブドウ球菌 MSSA	20	32	22	26	19	13	20	18	11	15	10	13	14	6	7	1	7	1	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	19	28	9	17	18	15	16	20	14	13	10	14	15	3	3	2	6	3	1
腸炎ビブリオ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	3	4	1	5	4	1	2	1	1	2	0	0	0	0	0	1	1*
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	5	7	3	2	2	6	0	0	1	2	0	0	0	2	1	1
ノロウイルス	2	0	0	1	0	0	0	1	2	14	11	6	1	0	0	1	0	0	0

* () は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

* その他の1件は、エルシニアでした。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和5年第23週(6月5日~6月11日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	3	結核	3					3		
三類	0	発生なし	0							
四類	6	つつが虫病	1				1			
		日本紅斑熱	1			1				
		レジオネラ症	4	3				1		
五類	13	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1					1		
		侵襲性肺炎球菌感染症	1					1		
		百日咳	1	1						
		梅毒	10	1				6	1	2

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり3.36人の報告があり、増加が続いています。換気などの基本的な感染予防対策を行うことや、医療機関や高齢者施設などへ訪問する時にはマスクを着用するなど重症化リスクが高い方を守るための行動を心がけましょう。

2 ヘルパンギーナ

定点当たり0.96人の報告があり、増加が続いています。回復後も2～4週間程度、便にウイルスが排泄されることがありますので、オムツの適切な処理を心がけるなど注意が必要です。

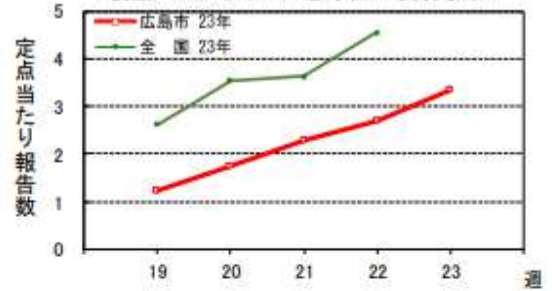
3 RSウイルス感染症

定点当たり3.71人の報告があり、増加が続いています。生後数カ月までの乳児が初感染した場合は重症化しやすいため、咳等の呼吸器症状がある人との接触を避けるなどの注意が必要です。

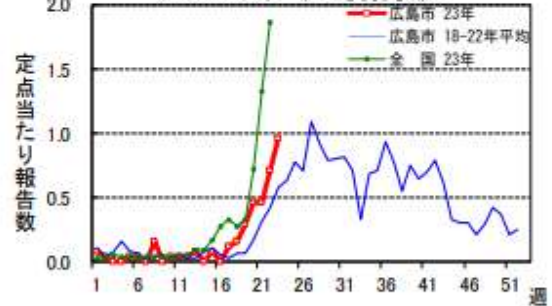
4 インフルエンザ

定点当たり2.06人の報告がありました。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖が4件報告されています。手洗い、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

新型コロナウイルス感染症の流行状況



ヘルパンギーナの流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
インフル	インフルエンザ	74	2.06	0.01	→	小児科	ヘルパンギーナ	23	0.96	0.59	↗
	新型コロナ(COVID-19)	121	3.36	↗	↗		流行性耳下腺炎	2	0.08	0.12	
小児科	RSウイルス感染症	89	3.71	0.50	↗	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.05	
	咽頭結膜熱	12	0.50	0.49			流行性角結膜炎	3	0.38	0.75	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	88	3.67	1.34	→	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	139	5.79	5.42	↗		無菌性髄膜炎	-	-	-	
	水痘	10	0.42	0.12			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.03	
	手足口病	7	0.29	1.08			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.07			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	突発性発しん	6	0.25	0.36							

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね 1:2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね 1:1.5~2の増減

微増減 ↖ ↙ 前週と比較しておおむね 1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇐ ⇒ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	55	10歳未満、50歳代、70歳代
4	レジオネラ症	1	11	50歳代
5	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	4	60歳代
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	8	10歳未満
5	梅毒	6	117	20歳代・1人、40歳代・3人、50歳代・2人